



ゆ〜かい〜ぶす 28号

兵庫高等学校第3学年

シリーズ

針路 **しんろ** 進路 の先生

初志貫徹

進路指導部長 Y.S.

12月に入り、センター試験まで約1年半になりました。センター試験までの学習計画は出来上がっていますか。受験生にとって、まさに勝負=合否はこれからの日々にかかっています。志望校合格に向かって邁進=勉強するのみです。

さて、12月8日頃から出願校を決定する大切な三者面談が始まります。何度も君たちに話しましたが、本校の出願の基本的な考え方を再度確認しておきます。

『失敗することを恐れず、最後まで志望校にこだわる。現在の成績・模試の判定だけで出願校を決定したりしない。弱気な出願は考えず、12月の三者面談で決定した出願校は、センター試験後も原則、変更しない。不本意な受験はしない。』

君たちは第2学区のトップ校に合格した生徒であることを忘れてはいけません。自分たちの可能性を自分たちで閉じることなく、持っている学習能力を最大限に発揮できるよう最後まで努力して下さい。今までの学習活動・学校行事・HR活動・部活動等だけではなく、大学受験も「人間力を鍛える」機会であると考えて下さい。

ですから、本校の出願の原則は次のようになります。

○国公立大学志望者—前期・後期ともに志望大学・学部・学科に出願する。志望大学に後期入試がない場合、行きたくない他大学にあえて出願する必要はない。また、中期や私立大学の併願も無理に考える必要はない。センター試験後、前期に向けて勉強、前期入試後は後期に向けて勉強する。志望校への強い思いを持ち、努力する者だけが合格を勝ち取ることができる。合格の真の喜びは、志望校の合格でしか手にできない。

○私立大学志望者—行きたい大学・学部・学科に出願する。行きたくないのであれば、滑り止めの大学にあえて出願する必要はない。受験する大学は自分の今後の人生を託せる大学にするべきである。

ただし、家庭の状況等で絶対に浪人できないような場合は、担任の先生とよく相談して下さい。

そして、出願校が決定したら、まず願書を取り寄せ、今後の学習計画を立てて下さい。現在の教科・科目の成績のバランス、志望校のセンター試験と個別（二次）試験の配点比率、センター試験と個別（二次）試験の教科・科目の配点等を踏まえて、センター試験までとセンター試験後の計画をしっかりと考えて下さい。私立大学専願の人と同じようにしっかりと計画を立てて下さい。

本校の進路指導の考え方は、今までに配布した「進路指導室 letter 2015」No1～No11に載せています。内容を忘れた人は再度読んでみて下さい。失くした人は進路指導部まで取りに来て下さい。また、何か不明な点・疑問点等があったら、進路指導部まで話をしに来て下さい。

最後に、

『初志貫徹＝第一志望を貫き通す、兵庫高校生の矜持を示せ。』

【シリーズ 針路**しんろ**進路 の先生】最終回は、《進路指導室Letter2015》を毎回みんなの元に届けてくださっているS先生からです。

進路指導室 Letter2015 No.11

進路指導部 S.S.

(続)「志望から志願へ」・「志望校を出願校に」－安易な妥協・不本意入学者の増加－

進路指導室 Letter2015 No.9 でも述べたように、2014 年度の高校既卒者(現役の高校生以外)の大学入試センター試験志願者数は 11.1 万人でしたが、浪人生以外(=大学・短大に合格し入学したものの再受験した者)が、3.8 万人いました。これは、高校既卒志願者 11.1 万人のうちの 34 %に当たります。

この 3.8 万人の多くは、「直面する困難」から「楽な方向」に逃げて、結局は「大きな回り道」をしたことになるのではないのでしょうか。安易に志望校を変更したり、国公立後期において第一志望である前期と異なる大学を出願したり、第一志望でない私立大学や国公立中期を併願したりすることが、結果的に「大きな回り道」へとつながってしまいます。

特にセンター試験直後の変更には注意が必要です。センターリサーチ返却から出願までは2週間足らずです。この短い期間で今までずっと志望してきた大学を変更することは極めて危険です。あとで「判断ミスであった」とならないとは限りません。また、「自己採点が正しいかどうかを確かめられるから」とセンター利用入試を勧める人もいますが、不合格の場合、得点のせいかわかからず、「かえって混乱する」だけです。以下に、兵庫県下の高校で集まった事例のうち、数例を紹介します。

① センター試験後に不用意に志望校を変更した。

事例1 P大学を志望していたが、絶対に浪人できないということで、前期・後期ともにA判定の大学を探し出して出願した。しかし前期・後期とも不合格となり、結果として浪人することになり、翌年P大学に合格した。

事例2 : P大学を志望していたが、センター試験の結果を受けてQ大学に出願、合格し入学するが、学科の内容を十分調べる時間のないままに出願したため、入学後自分のやりたいことができないことが判明し、退学し再受験した。

事例3 : P大学を志望していたがセンター試験後、安全策を取って、V大学に志望を変更し、前期で合格したものの入学せず、結局P大学を目指して浪人することになった。

事例4 : R大学工学部建築学科を志望していたがセンターリサーチC判定、どうしても現役で合格したい思いがつのり、安全策を取ってB判定のα学科に変更して出願、前期で合格の証書を手にするも、自分のやりたいことは「建築」であったことを思い返し、大学入学辞退、予備校へ入学した。

② 第一志望でない私立大学や国公立中期を併願した。

事例5 : 国公立の医学部医学科を志望していたが不合格、併願していた私立の薬科大学に進学し、在学しながら、翌年、翌々年と2回再挑戦したが、結局医学科への進学はならなかった。

事例6 : W大学を志望していたが不合格、中期のX大に進学したが満足できず、猛勉強し、P大学に編入した。(注)編入が簡単だとはいえません。安易に考えないように)

③ 国公立後期において、第一志望である前期と異なる大学を出願した。

事例7 : Y大学を志望していたが不合格、後期で合格したZ大学に進学したが、大学に通いながら仮面浪人して、再度Y大学を目指した。翌年もY大学には合格できず、後期で出願した&大学に進学した。

多くの生徒が夏休みまでに部活動を引退し受験勉強に専念してきた中で、晩秋まで両立させながら頑張ってきた仲間を紹介しします。

秋の定期戦を戦い抜いたラグビー部、都大路を目指し県大会まで進んだ陸上部・駅伝メンバーです。

悔しさをバネに

K.N.

もうみんなとあの木の下で話したり、ラグビーできないと思うと悲しくて、今までの楽しかったこと、辛かったことがどんどん頭によぎり、涙が止まりませんでした。決して楽な3年間ではなかったけど、心が折れそうな時でもグラウンドにみんなといると嫌なことを忘れて笑顔になれました。僕にとってラグビー部は思い出の詰まったかけがいのない一生の宝物です。たくさん笑い合い、励まし合い、支えあった67thHRFC。最高！

引退試合を2千人の生徒の前でプレー出来たのは貴重な経験で、みんなの声援は力になったし嬉しかったです。本当にありがとうございました！

悔いは残ったけどその分を勉強にまわして頑張りたいです。

感謝

Y.H.

先日行われた定期戦では、普段にはない大勢の人を背に仕事をし、少し緊張しましたが、私にとって貴重な経験、そしていい思い出となりました。

引退して数日たった今でも寂しい気持ちでいっぱいですが、同時に、日々練習してきた兵庫高校のグラウンドで約2000人の応援のなかで大好きな3年生9人と引退を迎えることができたこと、マネージャーとして2年半この部活に関わったことへの幸せな気持ちでもいっぱいです！

いつも温かく応援してくれた67回生のみんな、その他支えてくださった方々のおかげで充実した2年半を送ることができました。そして何より定期戦での熱い応援は本当に力になりました。

ありがとうございました。



襷の力ってすごい！

Y.T.

駅伝の県大会は毎年篠山で開催される。私は例年通りローラースルーゴーゴーで篠山に向かってしていると、途中で熊が現れた。私は1度右にフェイントをかまし、左側から熊を抜き去る、そしてローラースルーゴーゴーで一気に振り切った。その後は何事もなく篠山に着き、駅伝が始まった。

私たちは実力通りの力を発揮し、目標の15位でゴールすることができた。

中学 高校と6年間陸上を続けてきて感じた事が1つある。

ローラースルーゴーゴーってすごい!!

駅伝を戦って

M.N.

私は襷を待っている間、H先生に言われた「最後に勝つのはハートの強いやつや。」を何度も心の中で繰り返していました。そして仲間から襷を受け取ったとき、正直不安だったけど、ここで出し惜しみをしていつ出すんや！と気持ちを切り替え、H先生への恩返しと仲間への感謝を込めて走った結果は15年ぶり男女ともに15位入りでした。ああ、三年間のしんどかった練習はこの幸せを感じるためだったんだなあと感じました。

最後まで残って得たこの経験は糧となり自分を支え続けてくれると思います。そして、長かった分濃く充実した日々は一生の宝物です。

教室の窓から・・・

其三 英語

勉強漬けの毎日、ご苦労様です。この生活がずっと続くわけではありません。必ず終わります。もう少しの辛抱です。

さて、高校卒業後も英語を勉強したいな(しなければならぬ)と思っている人は多いですよ。思っていない人は、そう思いましょう。小学校で英語を教えようとうとう計画されているくらいですから、英語を避けて通ることはだんだんと難しい世の中になっていくことでしょう。

何か学習の動機はありますか？今は、合格のためという強い動機がありますよね。語学学習(習得)には、動機がないとダメだと思っていますが、今の日本は、強い動機が生まれにくい環境です。色々とマイナス要素はありますが、僕は下の二つが大きな原因だと考えています。

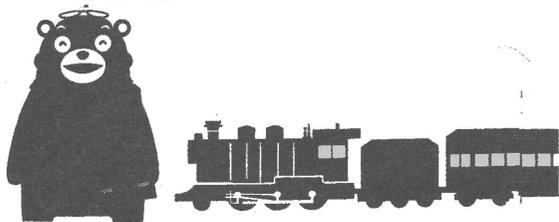
- ①語学学習が経済的利益に結びつかない
(=外国語ができて、さほど儲からない)
- ②英語ができなくても日常生活に困らない

外国語を取り巻く環境は徐々に変化していくことですが、急激な変化もなさそうな気がします。

一つの解決策として、海外に行くことをお勧めします。若いうち(自由な時間は若い時にはふんだんにあります!)に、働いてお金を貯めて、是非とも海外に行きましょう。期間の長短、英語を話す場所かどうかは問いません。とにかくどこでもいいですから、行きましょう。自分の考え方や、生き方に何かしらの示唆を与えてくれます。そして、語学学習の動機が生まれるはずですよ。

これからは、風邪の流行する時期です。健康にも十分注意してくださいね。

健闘を祈ります。



◆◆◆これからの予定◆◆◆

12/8(月)～ 前期特別時間割
三者面談
12/18(木)19(金) センタープレテスト
12/24(水) 終業式・大掃除

2015年
1/8(木) 始業式・大掃除
前期特別時間割 <16日まで>
1/16(金) センター試験事前指導
1/17・18(土・日) センター試験

1/19(月) センター試験自己採点
1/26(月)～2/4(水)
国公立二次出願
【前期・中期・後期】

2/25(水) 国公立大学前期試験
2/26(木) 卒業式予行
2/27(金) 卒業式

季節の言葉

大雪 たいせつ 12月7日

大雪とは、いよいよ本格的に雪が降り出す頃のこと。降雪地方では、雪の重みで木が折れないように雪吊りをします。

冬至 とうじ 12月22日

冬至とは、1年でもっとも昼が短く、夜が長い頃のこと。これから日が伸びていくので、古代には冬至が1年の始まりでした。

小晦日 こつごもり 12月30日

12月30日は小晦日、31日は大晦日(おおつごもり)という呼び方がありますが、つごもりとは、月が隠れる、月籠もり(つきごもり)のこと。月齢で数える太陰暦では 毎月末日は新月の頃で、つごもりにあたります。